

令和6年度 シラバス

教科	1年国語	担当	
----	------	----	--

1【教科の目標】

語彙力を身に付け、考え、伝え合う力を高める

2【1年国語 年間指導計画】

学期	月	単元・題材	時数	学 習 活 動
1学期	4	詩「朝のリレー」「野原はうたう」 「言葉に出会うために」	8	・好きな言葉や表現について友達と交流し、詩を朗読する。
	5	単元1 学びをひらく 物語「シンシュン」書く「情報を整理して書こう」	13	・表現に注意して読み、登場人物の心情の変化をとらえる。 ・読み深めた感想を友達と交流する。 ・目的や相手に応じて、伝えたいことを明確にして書く。
	6	単元2 新しい視点で 説明文「ダイコンは大きな根？」 「ちょっと立ち止まって」	13	・段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。 ・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・文章の構成や、事実と意見の違いを理解して説明文を読む。
	7	単元3 言葉に立ち止まる 詩・解説「詩の世界」説明文「比 喩で広がる言葉の世界」	11	・言葉の豊かさにふれ、ものの見方や感じ方を広げる。 ・詩の情景を想像し、表現の効果について考える。 ・比喩について理解し、言葉についての考えを深める。
	8 9	読書を楽しむ「本の中の中学生」 単元4 心の動き 物語「大人になれなかった弟たち に……」	18	・さまざまな読書活動を通して、読書が知識や考えを広げる ものであることを理解し、積極的に読書をする姿勢をもつ。 ・描写を基に、登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・関連する本などを読み、自分の考えを深める。
2学期	10	小説「星の花が降るころに」 書く「項目を立てて書こう」	15	・場面と場面、場面と人物の描写を結び付けて、作品を読み 深める。 ・情報を整理して、わかりやすく書く。
	11	単元5 筋道を立てて 記録『言葉』をもつ鳥、シジュ ウカラ」レポート「根拠を示して 説明しよう」	16	・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ・文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。 ・根拠を明確にし、伝えたいことの内容が明らかになるように、工夫 してレポートを作成する。
	12	単元6 いにしえの心にふれる 古文「いろは歌」「古典の世界」「蓬 萊の玉の枝」・書き初め指導	12	・仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通して古 典の世界に親しむ。 ・行書の基本を理解して、書き初めの練習に取り組む。
	1	単元7 価値を見いだす 意見『不便』の価値を見つめ直 す」書評を書く「助言を自分の文章 に生かそう」	14	・筆者の主張を要約し、それに対する自分の考えをもつ。 ・筆者の主張を通して、現代社会の問題についてさまざまな 観点から考えようとする姿勢を養う。 ・書評を書き、交流することを通して、読書の幅を広げる。
	2 3	読書に親しむ「考える人になろう」 単元8 自分を見つめる 小説「少年の日の思い出」「随筆二 編」随筆を書く「構成や描写を工夫 して書こう」「一年間の学びを振り 返ろう」	20	・多様な作品に触れて、自分の読書生活を振り返る。 ・展開や表現に注意しながら、登場人物のものの見方を読み取る。 ・文章中の語彙の意味に注意して読み、表現の効果について考え る。 ・場面の展開や描写を基に、筆者の考えや思いを捉える。 ・要点をフリップにまとめ、発表する。

3【国語の学習について】

<学校>

- ①人の話をしっかり聞いて、自分の考えを相手に伝えられるようにする。
- ②漢字のプリントや授業を通して、さまざまな語句を学び、自分の文章に生かす。

<家庭>

- ①ワークブックを活用して、授業の予習・復習を自主的に行う。
- ②毎日の「読書生活」を通して、語彙を豊かにしながら、自分の考えを広げる。

令和6年度 シラバス

教科	2年国語	担当	
----	------	----	--

1【教科の目標】

語彙力を身に付け、考え、伝え合う力を高める

2【2年国語 年間指導計画】

学期	月	単元・題材	時数	学 習 活 動
1学期	4	詩「見えないだけ」小説「アイスプラネット」聞く「問いを立てながら聞く」	8	<ul style="list-style-type: none"> ・詩のイメージを広げて作品を朗読する。 ・登場人物の設定に着目し、人物どうしの関係を読み取る。 ・話し手の意見とその根拠を問いを立てながら聞く。
	5	古文「枕草子」書く「多様な方法で情報を集めよう」漢字「熟語の構成」	13	<ul style="list-style-type: none"> ・朗読を通して、言葉の響きや調子を楽しむ。 ・情報を整理して聞き取るために注意することを理解する。 ・熟語の主な構成について理解する。
	6	報告「クマゼミの増加の原因を探る」情報「メディアを比べよう」文法「単語をどう分ける？」	13	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、説明の仕方の特徴を捉える。 ・分かりやすく伝えるために、説明の仕方を考えながら書く。 ・自立語の性質やはたらきを理解する。
	7	短歌・解説「短歌に親しむ」「短歌を味わう」随筆「言葉の力」言葉「類義語・対義語・多義語」読書「翻訳作品を読み比べよう」	11	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語・対義語、多義語の意味や用法を理解する。 ・解説文の筆者の見方、考え方に対して自分の考えを持つ。 ・短歌を作り、語感を磨く。 ・本に関する情報を多様な方法で集め、自分の考えをまとめる。
	8 9	小説「盆土産」随筆「字のない葉書」聞く「聞き上手になろう」書く「表現を工夫して書こう」「表現の効果を考える」言葉「敬語」	18	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に描かれている優しさや温かさなどを、表現に即して読む。 ・用件を明確にし、効果的に伝わるよう工夫して手紙を書く。 ・敬語の働きや種類を理解する。
2学期	10	論説「モアイは語る―地球の未来」書く「根拠の適切さを考えて書こう」討論「異なる立場から考える」	15	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開の工夫や筆者の主張を捉え、自分の考えを持つ。 ・相手の立場を尊重し、自分の意見と比較しながら発言する。 ・異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、論理的な構成を考えて話す。
	11	詩「月夜の浜辺」古文「扇の的―『平家物語』から」「仁和寺にある法師―『徒然草』から」漢詩・解説「漢詩の風景」漢字「同じ訓・同じ音をもつ漢字」	16	<ul style="list-style-type: none"> ・詩を朗読し、響きやリズムを味わい、情景や心情を読み取る。 ・古典の文章の独特なリズムや調子に慣れる。 ・同訓異字・同音異義語の意味・用法の違いを理解する。 ・人物の言動から、心情を理解し、自分の考えを持つ。 ・漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み、歌われている情景や心情を想像し、自分の考えをまとめる。
	12	評論「君は『最後の晩餐』を知っているか」書く「魅力を効果的に伝えよう」読書「研究の現場によろこそ」文法「走る。走らない。走ろうよ。」	12	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の絵画の見方に対し、自分の知識や体験と関連づけて考えを持つ。 【書写】毛筆・硬筆作品を丁寧に仕上げる。 ・用言の活用について理解する。
	1 2 3	小説「走れメロス」書く「構成や展開を工夫して書こう」言葉「話し言葉と書き言葉」	14 20	<ul style="list-style-type: none"> ・心情を表す語句や、登場人物の言動の意味などを考え、人物像の変化を捉え、作品を読み深める。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・1年間の学習を振り返り発表し、考えや意見を交流させる。 ・付属語について理解する。

3【国語の学習について】

〈学校〉

- ①準備物を忘れずに持ってくる。期限を守り、提出物を確実に出す。
- ②授業中の発問をしっかりと聞き、自分の言葉でまとめるとともに、他の生徒の考え方を自分の考えに生かす。

〈家庭〉

- ①漢字や、意味調べを積極的に行う。意味調べは、国語辞典を使い、用例も確認する。
- ②毎日の「読書生活」を通して、語彙を豊かにしながら、自分の考えを広げる。

令和6年度 シラバス

教科	3年国語	担当	
----	------	----	--

1【教科の目標】

語彙力を身に付け、考え、伝え合う力を高める

2【3年国語 年間指導計画】

学期	月	単元・題材	時数	学 習 活 動
1学期	4	詩「世界はうつくしいと」小説「握手」聞く「評価しながら聞く」	6	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味や詩の構成に注意して読み深める。 ・登場人物の言動やエピソードに着目し、人物像や心情を捉える。
	5	漢文「学びて時に之を習ふー『論語』から」書く「文章の種類を選んで書こう」漢字「熟語の読み方」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の生き方についての孔子の考え方を読み取る。 ・記事の内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。 ・熟語の読み方を知る。
	6	論説「作られた「物語」を超えて」話す・聞く「説得力のある構成を考えよう」文法「スイカは幾つ必要？」	16	<ul style="list-style-type: none"> ・文章における具体と抽象の関係を捉える。 ・社会生活の中から話題を決め、スピーチをする。 ・文保の知識を知り、読解に生かせるようになる。
	7	俳句「俳句の可能性」「俳句を味わう」読書「『私の一冊』を探しに行こう」言葉「和語・漢語・外来語」	10	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の特徴について理解を深める。 ・様々な本の探し方を知り、自分が読みたい1冊を見つける。 ・和語・漢語・外来語について理解する。
	8 9	詩「挨拶ー原爆の写真によせて」小説「故郷」聞き上手になろう」書く「論理の展開を整える」言葉「慣用句・ことわざ・故事成語」	16	<ul style="list-style-type: none"> ・比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を調べる。 ・登場人物の設定に着目し、登場人物のの心情や関係の変化を読み取る。 ・質問で相手の話を聞き出す。 ・慣用句・ことわざ・故事成語について理解する。
2学期	10	論説「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」書く「多角的に分析して書こう」話す聞く「合意形成に向けて話し合おう」	9	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの文章の要旨を捉え、観点を決めて文章を比較する。 ・批評文について知り、書く。 ・効果的に話し合いを進めるために必要な視点を学ぶ。
	11	古文「『和歌の世界』」「古今和歌集・仮名序」「君を待つと一万葉・古今・新古今」「夏草ー「おくのほそ道」から」	10	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や語句の効果に着目し、詩の内容を読み取る。 ・古文の語句の使い方や表現の効果に着目しながら音読する。 ・歴史的背景に注意し、表現の仕方や文体の特徴に着目して読む。
	12	論説「誰かの代わりに」書く「情報を読み取って文章を書こう」	11	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ・着眼点を決めてグラフなどの資料を読み取り、自分なりの問いを立てて分析する。
	1 2 3	読書「本は世界への扉」随筆「温かいスープ」詩「私を束ねないで」「三年間の歩みを振り返ろう」	18	<ul style="list-style-type: none"> ・本の情報から世界に対しての考えを深める。 ・国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 ・詩が持つメッセージについて捉え、自分の可能性について考える。 ・3年間の学びについて振り返り、自分の学びをまとめる。

3【国語の学習について】

<学校>

- ①図書室を活用し、本を読み味わう時間を作る。
- ②語句の意味を調べ、文章に活用する力を付ける。
- ③文章の構成を考え目的に合わせた書き方ができる。

<家庭>

- ①漢字の練習・語句の意味調べなど言葉を意識する。
- ②本を読む習慣を身に付ける。